

第２期ふるさと秋田元気創造プランにおける平成２８年度の取組について
地域力創造部会

戦略 ６ 人口減少社会における地域力創造戦略

施策１ 秋田への定着、移住・定住の拡大

【施策の方向性】

- ① 秋田の成長を担う若者の県内定着
- ② Aターン就職をはじめとした移住・定住の拡大

【平成２８年度の主要事業】

◆県内就職促進事業 ４２，０９６千円

高卒者の県内就職促進と県内企業の人材確保等のため、マッチング機会の提供や企業見学会等を実施するとともに、若年求職者等の職業相談対応やカウンセリング、その他各種の支援等を実施する。

- ・県内各地域での就職面接会の開催、高校１年生及び保護者を対象とした職場見学会の実施
- ・フレッシュワーク秋田での個別カウンセリングの実施

◆「未来のあきたを創る」人材育成事業 ９１，０７９千円

高校生のキャリア教育の推進と県内就職の促進、大学進学者の県内就職促進のため、キャリアアドバイザー等による進路相談や県内企業情報の提供等を実施する。

- ・キャリアアドバイザー（県立高校13名）による進路相談、ふるさと企業紹介等の実施
- ・就職支援員（県立高校及び教育庁25名）による求人開拓、企業の情報提供等の実施

◆秋田を支える人材確保支援事業 ３１，７４６千円

本県人口の社会減少幅を抑制するため、県外に進学・就職した方のAターン就職の促進を図り、活力ある地域を維持するとともに、優れた人材を確保することで、県内産業の振興に努める。

- ・Aターンプラザ等における就職相談や県内企業情報の提供等
- ・(拡)大卒者等を対象とした就職面接会等や女子学生を対象とした交流会の開催、進学予定の県内高校生を対象とした県内就職希望登録の勧奨、県就活情報サイトによる情報発信
- ・雇用労働アドバイザーによる求人開拓等の実施

◆移住総合推進事業 １７１，４６３千円

人口減少抑制及び地域社会・経済の活性化を図るため、市町村、NPO、民間団体等との連携による受入体制の充実や移住情報発信の強化、移住後の生活に対する支援等により本県への移住の促進を図る。

- ・多様なメディアを活用した移住情報の発信や、首都圏移住相談窓口の設置
- ・官民協働による受入体制の整備や、移住に伴って発生する引越費用等への助成
- ・起業支援プログラムや、秋田の魅力体験ツアーの実施
- ・移住相談員及び定住サポーター養成研修会や「あきた移住促進協議会」の開催

【施策の数値目標】

代表指標：Aターン就職者数

県内人口における社会動態の減少幅を抑えるためには、県外からの転入者の中で大きなウェイトを占める就職者数を増やすことが効果的であることから、県外に在住する社会人の本県への就職者数を示す「Aターン就職者数」を指標とします。

(単位：人)

区分	現状値 (H24)	H26	H27	H28	H29
目標値	—	1,300	1,400	1,550	1,700
実績値	1,121	1,061	1,080		

第2期ふるさと秋田元気創造プランにおける平成28年度の取組について

地域力創造部会

戦略 6 人口減少社会における地域力創造戦略

施策2 官民一体となった少子化対策の推進

【施策の方向性】

- ① 実践的な県民運動の充実強化
- ② 地域社会全体で少子化対策を応援する取組の推進

【平成28年度の主要事業】

- ◆「ベビーウェーブ・アクション」実践拡大事業 3,295千円
ベビーウェーブアクション会員との連携強化による行動宣言に基づく総合的な普及啓発を展開する。
 - ・ベビーウェーブ・アクション開催
 - ・ベビーウェーブ・アクション会長表彰の実施
 - ・子どもの国づくり推進協定の締結
 - ・脱少子化モデル企業の映像制作
- ◆（新）市町村少子化対策重点推進補助金 4,491千円
結婚、妊娠から子育てに至る各段階の負担・悩み・不安を切れ目なく解消するため、市町村が行う、様々な出合いの機会の提供など、結婚に向けた活動支援、及び結婚、妊娠、出産乳幼児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・気運の醸成に係る先駆的な取組に対して補助を行う。
- ◆（新）市町村結婚新生活支援事業費補助金 21,465千円
経済的理由で結婚に踏み出せない低所得者を対象に、結婚に伴う新生活を経済的に支援する施策を新たに開始した市町村に対し緊急に補助を行う。
- ◆少子化対策応援ファンド拠出事業 4,000千円
民間団体及び企業が行う少子化克服に資する取組を促進するため、「あきたスギタッチファンド」へ資金拠出を行い、同ファンドが支援活動を行う民間団体等に対し助成する。

【施策の数値目標】

代表指標：脱少子化モデル企業数

積極的に脱少子化に取り組む模範的な企業・団体が増加することにより、他の企業等への波及が図られることから、「脱少子化モデル企業数」を指標とします。

(単位：団体)

区分	現状値(H25)	H26	H27	H28	H29
目標値	—	30 (118)	30 (148)	30 (178)	30 (208)
実績値	28 (累積88)	30 (118)	30 (148)		

第2期ふるさと秋田元気創造プランにおける平成28年度の取組について

地域力創造部会

戦略 6 人口減少社会における地域力創造戦略

施策3 次の親世代に対する支援の充実強化

【施策の方向性】

- ① 結婚や出産、家庭に対する意識の醸成
- ② 「あきた結婚支援センター」による出会いの機会の提供

【平成28年度の主要事業】

◆ 次の親世代向け普及啓発事業

915千円

高校生に本県の少子化の現状やその影響、秋田での結婚や家族を持つことの意義等について学び考える機会を提供し、自然な意識醸成を図る。

- ・少子化対策副読本（高校生向け）を作成し、高校の家庭科の授業で活用

◆ 企業における独身従業員ライフプラン支援事業

6,857千円

企業における結婚支援を促進するため、専門アドバイザーを企業に直接派遣し、独身従業員のコミュニケーションスキル向上やライフプラン等について学び考える機会を提供するとともに、人口問題対策課に配置する「独身従業員サポート推進員」が取組を広く周知するなど、従業員の出会いと結婚を後押しする企業の拡大を図る。

◆ あきた出会い・マッチング支援事業

23,738千円

県、全市町村及び民間団体が共同で、大館市、秋田市及び横手市の3か所に設置した「あきた結婚支援センター」の運営費に対する支援。

◆ (新) あきた出会いサポート・相談事業

11,882千円

結婚に関して悩みを抱える全ての県民を対象にした相談窓口を、あきた結婚支援センターに設置し、出会い・結婚に一步踏み出せない独身層の新規入会につなげるとともに、結婚サポーターの育成を図り、成婚報告者の増加に繋がるモデル的な取組を実践し周知普及していく。

◆ (新) 秋田で結婚！出会いイベントモデル事業

2,845千円

首都圏の女性と県内男性の出会いイベントの効果的な実施方法の検討を行い、各地域における同様な出会いイベントの開催促進を図る。

【施策の数値目標】

代表指標

①婚姻数

本県人口は、出生数の減少等に伴い今後も減少することが見込まれており、こうした傾向に歯止めをかける必要があることから、結婚を希望する男女に対する支援の成果を示す「婚姻数」を指標とします。

(単位：件)

区分	現状値 (H24)	H26	H27	H28	H29
目標値	—	4,020	4,020	4,020	4,020
実績値	4,020	3,842	3,613		

②秋田結婚支援センターへの成婚報告者数

出会い・結婚支援については、結婚を希望する独身男女に様々な出会いの機会を提供するあきた結婚支援センターの取組が施策の中核であることから、「秋田結婚支援センター」への成婚報告者数を指標とします。

(単位：人)

区分	現状値 (H24)	H26	H27	H28	H29
目標値	—	170 (530)	180 (710)	190 (900)	200 (1,100)
実績値	142 (累積210)	187 (585)	195 (780)		

第2期ふるさと秋田元気創造プランにおける平成28年度の取組について
 地域力創造部会

戦略 6 人口減少社会における地域力創造戦略

施策4 子どもを産み・育てる環境の充実強化

【施策の方向性】

- ① 子育て家庭の経済的負担の軽減
- ② 地域の子育てサポート体制の充実
- ③ 安心して出産できる環境づくり
- ④ 企業による仕事と子育てを両立できる環境づくり

【平成28年度の主要事業】

- ◆（拡）すこやか子育て支援事業 1,051,929千円
- ◆（拡）福祉医療費等助成事業 1,066,838千円
 子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、乳幼児の保育料に対する助成や、乳幼児及び小(中)学生の医療費への助成を実施する。
 ・保育料助成 対象：乳幼児（0～5歳児）
 助成率：保育料の1/2又は1/4
 新たに第3子以降が生まれた場合は、第2子以降全額
 ・医療費助成 対象：乳幼児及び小(中)学生
 助成率：自己負担分の1/2（自己負担の上限は1,000円/1レセプト）
 ※平成28年8月1日から対象者を中学生まで拡大
- ◆（新）多子世帯向け奨学金貸与事業 63,593千円
 多子世帯における子どもの進学時の経済的不安を解消するため、所得制限のない、家計の事情に合わせて借りられる奨学金制度を創設する。
 ・実施主体となる（公財）秋田県育英会への貸付原資等の助成
- ◆地域の子育て力向上事業 9,351千円
 地域ぐるみの子育て支援体制を構築するため、子育てに関する情報発信や企業・子育て支援団体等との連携による取組を推進する。
 ・（新）協賛店による「あきた子育てふれあいカード」サービスの全国展開
 ・（新）シニア世代を活用した子育て支援グループの立上げ等
- ◆地域子ども・子育て支援事業 276,442千円
 地域の子育て支援体制を強化するため、一時預かり、延長保育、病児保育事業等を実施する市町村に対し、事業費への助成を実施する。
- ◆幸せはこぶコウノトリ（不妊治療総合支援）事業 108,194千円
 不妊治療に取り組む夫婦の経済的負担の軽減を図るため、国の補助制度に加えて、県単独で助成金額と助成回数を上乗せして支援する取組を行う。
- ◆仕事と家庭の両立応援企業拡大事業 3,798千円
 従業員の仕事と家庭の両立を応援する企業の拡大を図るため、企業に対する両立支援の啓発等を広く行うとともに、両立支援推進員を派遣し取組の実践を促進する。

◆「パパも子育て」推進事業

4, 592千円

男性従業員が育児・家事等へ積極的に関与できるよう、県内企業に対し両立支援に対する理解を深める取組を働きかけるとともに、積極的な企業の実践例を取材し広く周知する。

【施策の数値目標】

代表指標

①出生数

本県人口は、出生数の減少等に伴い今後も減少することが見込まれており、こうした傾向に歯止めをかける必要があることから、子育て環境整備等の成果を総括的に示す「出生数」を指標とします。

(単位：人)

区分	現状値 (H25)	H26	H27	H28	H29
目標値	—	6,100	6,100	6,100	6,100
実績値	6,177	5,988	5,861		

②合計特殊出生率

人口減少を抑制するため、子どもを産み、子育てできる環境づくりの充実を示す「合計特殊出生率（一人の女性が一生の間に産む平均の子どもの数）」を指標とします。

(単位：—)

区分	現状値 (H25)	H26	H27	H28	H29
目標値	—	1.39	1.41	1.43	1.45
実績値	1.35	1.34	1.38		

第2期ふるさと秋田元気創造プランにおける平成28年度の取組について

地域力創造部会

戦略 6 人口減少社会における地域力創造戦略

施策5 地域の人材や資源を生かした地域力の向上

【施策の方向性】

- ① 地域の支え合い体制の充実
- ② 地域の魅力を生かした体験交流の促進と地域のにぎわいづくり

【平成28年度の主要事業】

◆秋田型地域支援システム推進事業 6, 175千円

高齢者等の生活課題解決を図るシステム構築のため、県内2地区において高齢者支援を行う先導的な事業を実施し、高齢者支援モデルの県内への波及を促進する。

◆雪対策推進事業 22, 688千円

除排雪作業の新たな担い手としての共助組織の確保・育成を図るほか、雪下ろし作業の安全確保と負担軽減のため、住宅の安全対策等工事費用に対して補助し、安全対策の普及促進を図る。

- ・除排雪活動等を実施する共助組織等の地域団体の立ち上げや活動の支援を実施
- ・様々な媒体を用いた安全な除排雪作業の普及啓発活動の実施等

◆はつらつシニア応援事業 1, 081千円

シニア世代が様々な分野でノウハウやスキルを発揮し活躍できる社会環境を創出するため、普及啓発活動等を実施し、高齢者の社会参加の気運を醸成する。

- ・はつらつ高齢者輝き県民会議の開催等

◆秋田発・子どもふるさと交流推進事業 3, 350千円

地域ぐるみの子ども交流活動を促進するため、市町村が地域住民と受入体制を構築し、農林漁業体験や自然・文化・伝統芸能などの地域資源を活用して行う児童・生徒の交流事業に対し、助成金による支援を行う。

【施策の数値目標】

代表指標：社会活動・地域活動に参加した人の割合

本県民がそれぞれの立場から地域のボランティア活動等に参加し、地域の共助力を向上させることが望ましいことから、「社会活動・地域活動に参加した人の割合」を指標とします。

(単位：%)

区分	現状値 (H25)	H26	H27	H28	H29
目標値	—	48.0	52.0	56.0	60.0
実績値	43.3	46.4			

第2期ふるさと秋田元気創造プランにおける平成28年度の取組について

地域力創造部会

戦略 6 人口減少社会における地域力創造戦略

施策6 人口減少社会を踏まえた地域コミュニティの活性化

【施策の方向性】

- ① 県と市町村による支援体制の充実
- ② 県内外の自治会等の多様な連携の促進
- ③ 地域コミュニティの持続的な活動を支える仕組みづくり

【平成28年度の主要事業】

◆ 市町村集落対策補完事業

1,667千円

県と市町村との一体的支援体制を充実するため、協議会による市町村との情報共有、集落間ネットワーク化の促進、サポート窓口支援の拡充等を行う。

- ・地域コミュニティ政策推進協議会の開催(3回)
- ・支援制度研究会の開催(4回)

◆ 集落活動広域的支援事業

16,314千円

地域コミュニティと多様な団体との交流連携の拡大及び元気ムラ活動の掘り起こし及び情報発信を行う。また、地域住民の生きがいをづくりと小さな経済の創出を目的としたGBビジネスの事業体としての拡大と自立を支援する。

- ・元気ムラ広域連携促進事業 あきた元気ムラ大交流会の開催(9月3日 大仙市)
- ・元気ムラ活動拡大展開事業 ※集落活動コーディネーターを配置(2名)

元気ムラ活動の掘り起こしと広域的な情報発信

- ・GBビジネス拡大展開事業

ア 集落ネットワーク会議及び研修会の開催(5回)(※お宝ネットひろげ隊の配置(1名))

イ 参加集落の拡大、山菜等地域資源の市場調査、出展等の販売促進活動

◆ (新) 地域連携拠点形成支援事業

403千円

小さな拠点形成に関する情報交換と周知活動を促進するとともに、平成27年度開設したお互いさまスーパー3か所を対象に連携ネットワークの強化を図るほか、交流拠点機能の強化と地域づくり拠点としての機能の拡大について検討する。

- ・小さな拠点形成に向けた情報交換
- ・お互いさまスーパー機能強化に向けたネットワーク会議(3回)

◆（新）地域おこし協力隊制度導入加速化支援事業 4, 335千円

地域おこし協力隊等に情報交換と研修の機会を提供し、定住の促進を図る。

また、市町村向けの制度説明会を実施し、地域おこし協力隊制度等の周知を進めるとともに、合同募集説明会を開催し、効率的な告知と募集を実施し、制度導入の加速化を推進する。

- ・地域おこし協力隊交流会、研修会の開催（各1回）
- ・地域おこし協力隊制度導入促進に向けた研修会（1回）
- ・地域おこし協力隊合同募集（2回）

◆（新）つながる・広がる「里山の恵み」プロモーション事業 7, 869千円

県内の地域資源を有する地域と首都圏地域づくり支援団体をマッチングさせ、地域に寄り添った視点に立ち、かつ、マーケットニーズを満たす商品の開発やプロモーションを進め、地域コミュニティの活性化及びソーシャルビジネスの実現につなげる。

- ・商品化に向けた首都圏地域づくり支援団体とのワークショップ、地域資源の成分分析、試作品の製造等
- ・首都圏地域づくり支援団体と地域が一体となったプロモーションの展開

【施策の数値目標】

代表指標：「秋田県のがんばる農山漁村集落応援サイト」の新規公開地区数

地域コミュニティが主体的に地域を見つめ直し、対話や実践を重ね将来ビジョンを共有する組織の力を高める取組とともに、地域のお宝も含め情報を発信する「秋田県のがんばる農産漁村集落応援サイト」の新規公開地区数を指標とします。

（単位：件）

区分	現状値(H24)	H26	H27	H28	H29
目標値	—	12 (70)	12 (82)	9 (91)	9 (100)
実績値	5 (累積52)	7 (65)	7 (72)		

第2期ふるさと秋田元気創造プランにおける平成28年度の取組について

地域力創造部会

戦略 6 人口減少社会における地域力創造戦略

施策7 「協働」の多様な担い手の確保と活動の促進

【施策の方向性】

- ① NPO等による自立的活動の促進
- ② 多様な主体による「協働」の推進
- ③ 地域活動への女性の参画拡大

【平成28年度の主要事業】

◆協働の輪づくり促進事業

20,622千円

多様な主体による「地域協働」の裾野を広げ、顔の見える関係を構築し、協働で地域の課題解決に取り組むNPO等に対する支援を行うとともに、県民の社会参加活動の促進等を図る。

- ・多様な主体が集う地域課題検討協議会の開催やNPO派遣相談員による現場支援
- ・地域特性を生かした多様な主体の協働による実践事業を3年継続で支援

◆協働を支える基盤整備事業

11,185千円

多様な主体による地域課題解決の取組を広げていくため、協働の核となるNPO等への指導、育成、活動支援を充実・強化するとともに、多世代協働によるまちづくりを促進する。

- ・市民活動サポートセンター（相談及び情報提供業務）の運営
- ・親子花づくり教室や花のまちづくりセミナーの開催

◆地域づくり活動支援事業

6,200千円

県民参加による地域再生等を促進するため、県民自らの発案による地域活性化の取組等へ助成金による支援を行う。

- ・地域づくりに資するイベント、講演会等の開催経費を助成

◆あきた女性の活躍推進事業

10,040千円

女性の活躍を推進するため、行政と経済団体等が連携し、男女が働きやすい職場づくりを促進するとともに、地域における普及啓発を図る。

- ・行政と経済団体等で構成する「あきた女性の活躍推進会議」の開催
- ・（新）女性の活躍推進企業表彰の実施
- ・（新）企業等への訪問による実態調査等の実施

【施策の数値目標】

代表指標：県とNPO、公益法人、企業・大学等との協働件数

県民の協働に関する理解の促進と、多様な担い手による協働の取組の推進状況を示す「県とNPO、公益法人、企業・大学等との協働件数」を指標とします。

(単位：件)

区分	現状値(H24)	H26	H27	H28	H29
目標値	—	660	690	720	750
実績値	621	1,429	1,720		

第2期ふるさと秋田元気創造プランにおける平成28年度の取組について

地域力創造部会

戦略 6 人口減少社会における地域力創造戦略

施策8 県と市町村の協働の推進

【施策の方向性】

- ① 効果的・効率的な行政システムの構築
- ② 地域活性化に向けた未来づくり協働プログラムの推進

【平成28年度の主要事業】

◆県・市町村協働の地域づくり推進事業 6,547千円

人口減少社会においても、必要な住民サービスの提供を確保するための、県と市町村を通じた効果的・効率的行政システムの構築を図る。

- ・県と市町村の機能合体の推進（平鹿地域における取組の他地域への普及等）
- ・「人口減少社会に対応する行政運営のあり方研究会」の開催等
- ・市町村間の連携を進める取組に対する広域連携推進補助金による助成等
- ・市町村の生活関連インフラの運営の連携等に関する検討

◆あきた未来づくり交付金事業 468,150千円

県市町村未来づくり協働プログラムに基づき実施される18市町村17プロジェクトの事業展開への支援を実施する。

- ・小坂町 旧小坂鉄道施設等を活用した「小坂鉄道レールパーク」の整備等
- ・北秋田市 森吉山ビジターセンター（仮称）の整備等
- ・藤里町 あきた白神めん羊等のブランド化等
- ・八峰町 菌床しいたけ実践研修施設の整備とブランド力の強化等
- ・三種町 健康づくりプログラムの作成と拠点施設の整備等
- ・秋田市 園芸農業の担い手育成等
- ・五城目町 健康づくりと介護予防の拠点（屋内温水プール）整備等
- ・八郎潟町 図書館、子育て支援、交流機能を有する情報交流拠点施設の整備等
- ・大潟村 農産物直売所のリニューアルによる食の販売強化等
- ・由利本荘市・にかほ市 桑ノ木台湿原環境整備等（由利本荘市）、
にかほ市観光拠点センター建設等
- ・大仙市 花火文化継承のための資料館整備、人材育成と既存観光資源との連携等
- ・仙北市 将来的なクニマスの里帰りと田沢湖再生に向けた環境整備等
- ・美郷町 多様な体験・宿泊を推進する新たな交流機会の創出等
- ・横手市 まんが美術館の機能強化と町並みを生かした周辺環境整備等

- ・湯沢市 まち歩き拠点施設の整備と情報発信等
- ・羽後町 うごブランドを発信する拠点づくり等
- ・東成瀬村 ジュネス栗駒エリアのスポーツツーリズムの推進等

【施策の数値目標】

代表指標：自治体同士の連携が実現した取組数

県と市町村の協働を推進し、効果的・効率的な行政システムの構築を図るためには、自治体同士の連携を進めることが重要であることから、「自治体同士の連携が実現した取組数」を指標とします。

(単位：件)

区分	現状値 (H24)	H26	H27	H28	H29
目標値	—	5	5	10	10
実績値	0	7	5		